

令和8年度 学校重点目標

【スローガン】ココで未来を切り拓く

【サブテーマ】～ 自ら学び、つながり、挑戦し続ける力を育む ～

生徒一人ひとりの背景や将来を見据え、学習・生活・進路の三位一体による支援を推進することで、「できた」「変わった」「ココで学んでよかった」と実感できる学校づくりを目指す。なお、「ココ」には、長工定で学ぶことと自分自身の在り方の双方の意味を込めている。

全職員がそれぞれの専門性と役割を発揮し、チームとして協働することで、卒業時の満足度100%と、社会で自立して生き抜く力の育成を実現する。

さらに、企業・団体・大学・地域との連携を深化させ、実社会と結び付いた学びを通して、生徒の学びの幅と深さを広げることで、世の中と乖離しない知識・技術・技能の習得を目指す。

加えて、教職員一人ひとりが県職員としての使命を自覚し、働きがい・達成感・成長を実感できる職場環境のもと、楽しく前向きに、持続可能な教育活動を推進する。

<目指す生徒像>

- 基礎学力と生活力を身に付け、心身ともに成長しようとする生徒
- 自ら考え、選択し、主体的に行動できる生徒
- 失敗を恐れず、粘り強く挑戦し続ける力を持つ生徒
- 多様な人となつながら、協働しながら社会に参画できる生徒

<具体的な目標と主な取組>

(1) 基本的生活習慣と社会性の確立

- 時間を守り、計画的に行動する力の育成（無遅刻・無欠席を目指す）
- 心身の健康管理能力の育成（メンタルケア・体力づくりの充実）
- アルバイト・ボランティア活動等を通じた社会参加意識の醸成

(2) 基礎学力の定着と学び直しの充実

- 進路実現に直結する基礎学力の向上（個別最適な学習支援）
- ICTの活用による学び直し・反転学習の推進
- 資格取得を通じた自己肯定感と達成感の醸成

(3) 実践的な技術・技能の習得と進路意識の向上

- 工業教育を軸とした専門的知識・技術・技能の確実な習得

- 企業・団体・大学・地域との連携による実践的学習の充実
- キャリア教育の体系化による早期からの進路意識形成

(4) 規範意識と人間関係形成力の育成

- 他者理解と思いやりを大切にする態度の育成
- 物事を正しく判断し、自らの行動に責任を持つ力の育成
- 時と場に応じた言動・容姿・振る舞いを意識できる生徒の育成

<生徒支援・組織運営に関する重点事項>

- 生徒一人ひとりの特性を踏まえた、きめ細かな支援の充実
 - ・発達特性等を持つ生徒への専門的視点に基づく支援
 - ・学習・生活面でつまずきのある生徒への校内支援体制の強化
- 教職員間および組織間の連携強化
 - ・学年、学科、教科、分掌、担任、部活動顧問、関係機関との連携
- 生徒指導・問題防止と対応の迅速化と組織的対応
 - ・問題発生時の早期報告・情報共有の徹底
 - ・重大事案における関係者会議の実施と組織的対応
- 進級・卒業・進路に向けた計画的支援
 - ・早期からの情報共有と支援により、生徒の不利益を防ぐ
- オープンスクール等を通じた本校教育活動の発信
- ふるさと教育の充実による県内就職支援 ※県内就職目標値：100%
- 教職員一人ひとりが綱紀粛正を徹底し、不祥事防止に取り組む
- 超過勤務月 45 時間超の職員割合 **0%の維持**